

令和7年 観光客推定について

1. 令和7年(1月～12月)の観光客推定表の主要数値

	令和7年	令和6年	増減	前年比
観光客推定数	635万8,400人	600万3,900人	+35万4,500人	+5.9%
外国人観光客推定数	74万4,500人	53万5,300人	+20万9,200人	+39.1%
観光施設入込客数	363万6,200人	304万6,200人	+59万人	+19.4%
宿泊者数(市内全体)	289万3,600人	260万7,900人	+28万5,700人	+11.0%
宿泊者数(道後)	81万8,500人	76万9,300人	+4万9,200人	+6.4%
観光客推定消費額	813億1,081万円	843億8,384万円	▲30億7,303万円	▲3.6%

2. 令和7年の特徴

- ①道後温泉本館が令和6年7月に保存修理工事を経て、約5年半ぶりに全館で営業を再開し、道後温泉でアート事業「蜷川実花 with EiM × 道後温泉 DOGO ART」を開催するほか、大阪・関西万博でプロモーションするなど、松山への旅行需要が増え、観光客推定数は、昭和39年に推定を開始以降、過去最高を記録。
- ②加えて、国際定期路線の安定運航に向けて、愛媛県などと連携してプロモーションや市独自の助成を実施するなどし、外国人観光客推定数は、2年連続で過去最高を更新。
- ③観光施設入込客数は、前年から59万人増え、観光客推定数の増加数を上回る。
市内周遊を推進した結果と分析。
- ④観光客推定消費額は、観光客の増加で、2年連続で800億円を超え、地域経済を活性化。
- ⑤交通機関別の利用割合は、航空、郊外・貸切バスなどが前年より増加し、鉄道と自家用車は減少。※昨年に続き、近距離に比べ都市部からの旅行が増えていると分析。

(ファミツアーの様子)



(万博でのプロモーション)